

MITSUBISHI

三菱電機 温水器 ダイアホット

時間帯別電灯通電制御型/深夜電力通電制御型(8時間)

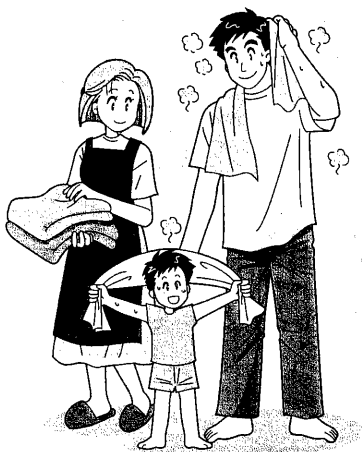
形名

SRT-3756D (タンク容量:370L)

SRT-4656D (タンク容量:460L)

SRT-5556D (タンク容量:550L)

取扱説明書



この温水器は、通電制御型なので申請によって料金割引が適用されます。ご不明な場合は、据付工事店(販売店)または最寄りの電力会社にご相談ください。

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保管し、必要なおきお読みください。
- 保証書、据付工事説明書(チェックリストが入っています)、据付工事確認書は必ず所定の記載事項を確かめて、据付工事店(販売店)からお受け取りください。
- お客さまご自身では据付けないでください。安全や機能の確保ができません。
- 試運転は、据付工事店立ち合いのもとで行なってください。その際、安全を確保するための正しい使い方について、据付工事店から説明を受けてください。
- 他に売ったり譲渡されるときなどには、次の所有者となる方が安全な正しい使用方法を知るために、この取扱説明書と据付工事説明書などを次の所有者の方へ渡してください。

この取扱説明書は再生紙を使用しました。

もくじ

ページ

ご使用前に

特長	2
安全のために必ずお守りください	3
ご使用にあたってのお願い	5
各部のなまえ	
●本体	6
●リモコン	7
準備	8
●時刻を合わせる	9
●タンクのわき上げ湯温を設定する	10

蛇口のお湯を使う

たくさんお湯を使う(わき増し)	11
-----------------	----

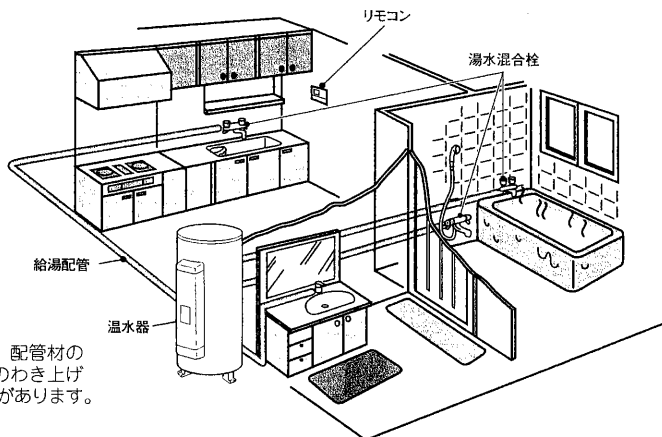
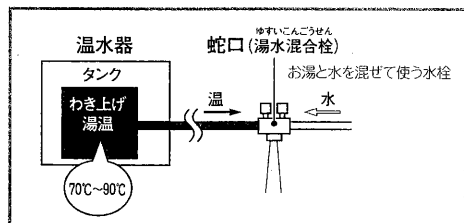
こんなとき

数日間 温水器を止めたいとき	12
長期間 使用しないとき	12
凍結防止をする	13
停電したとき	14
定期点検(有料)	14
日常点検とお手入れ	15
故障かな?	16
アフターサービス	18
仕様	裏表紙

特長

温水器のしくみ

温水器でわき上げたお湯は、配管を通して家の中の蛇口（台所、洗面所、シャワーなど）にきます。水と混ぜて（湯水混合栓で混ぜる）お好みの温度で使用してください。



お知らせ

- 蛇口から出るお湯は、配管材の放熱によってタンクのわき上げ湯温より低くなる場合があります。

選べる電力制度

この電気温水器に適用できる電力制度は、時間帯別電灯通電制御型と深夜電力通電制御型とがあります。ご家庭のライフスタイルに合わせてお選びください。

契約している電力制度と使える機能

電力制度	機能	わき上げ 夜間時間帯に わき上げる (昼はわかせません。)	わき増し お湯が減ったら 自動的に追加でわき 上げる(昼もわかせます。)	契約の概要
時間帯別電灯 通電制御型	○	○		家庭の電気製品すべてに対して 夜間時間帯(23:00~7:00)は通常の1/3以下の割引料金、昼間時間帯 (7:00~23:00)は通常の10%~30%程度の割増料金*が適用されます。 *割増の程度は、電力会社により異なります。
深夜電力 通電制御型	○		×	電気温水器のみ、 夜間時間帯(23:00~7:00)は通常の1/3以下の割引料金が適用されます。 (昼間時間帯は通電されません。)電気温水器以外の電気製品は、通常の 料金が適用されます。

- 昼間時間帯、夜間時間帯は電力会社などにより異なります。
- 上記以外の電力制度については、電力会社または当社ご相談窓口(→19ページ)へお問合わせください。

安全のために必ずお守りください

- ご使用前にこの欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、据付工事説明書とともにお使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。据付工事説明書も必ず据付工事店(販売店)から受け取ってください。

■ 誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

■ 本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

(本体表示)

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。
注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつきます。

禁止	分解禁止
接触禁止	

アース線接続	感電注意
指示にしたがう	高温注意

感電注意	高温注意
発火注意	

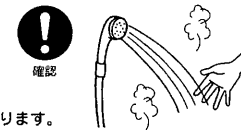
警告

やけどに注意

- 給湯時は湯水混合栓に手を触れない
- 排水時はお湯に手を触れない
- 逃し弁点検時は配管に手を触れない

入浴するときやシャワー使用時、台所や洗面所でお湯を使うときは、湯温を指先等で確認する

湯温を確認せずに浴槽につかったり、シャワーを浴びると、やけどをすることがあります。



近くにガス類や引火物を置かない

発火・火災になることがあります。



前面カバーを開けない (→6ページ)

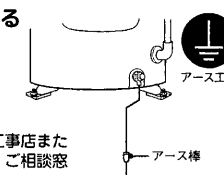
開けると、感電することがあります。



アース工事を確認する

工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。

アースの取付けは、据付工事店または「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」へお問合わせください。



改造をしない

(修理技術者以外の人は) 分解・修理をしない

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



漏電遮断器の動作を確認する (→15ページ)

故障のまま使用すると、感電することがあります。



異常(こげ臭いなど)時は、漏電遮断器のレバー(→6ページ)を下げて電源を「切」にし、お買い上げの販売店または「三菱電機修理窓口・ご相談窓口」へ連絡する

異常のまま使用すると故障や感電、火災の原因になります。



使用前に

安全のために必ずお守りください (つづき)

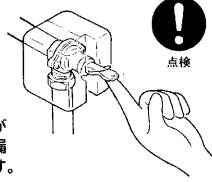
注意

通電はタンクを満水にしてから行う (→8ページ)



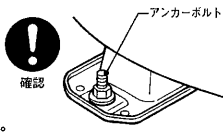
タンクに水がない状態で通電すると、ヒーターが過熱して故障の原因になります。

逃し弁の点検をする (→15ページ)



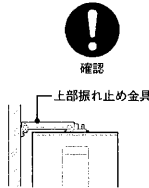
点検しないとタンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

脚(3カ所)がアンカーボルトで固定されているか確認する



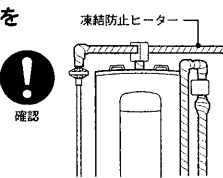
固定されていないと、地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。

2階以上に据付けた場合、上部振れ止め金具が壁に固定されているか確認する



固定されていないと、地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。

凍結防止対策の確認をする (→13ページ)



凍結するとタンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。

床面が防水・排水処理されているか据付工事店へ確認する



処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな損害につながる可能性があります。

タンクの熱湯を直接排水しない (→12ページ)



やけどをすることがあります。また、排水管などを破損することがありますのでタンク内を水にしてから排水してください。

1か月以上使用しないときは、漏電遮断器のレバー (→6ページ) を下げて電源を「切」にし、タンクの排水をする



排水しないと水質が変化することがあります。

操作カバーは閉じる (→6ページ)



開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

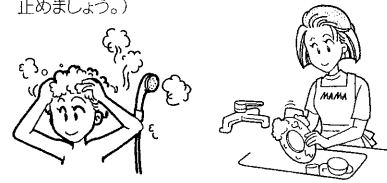
ご使用にあたってのお願い

使用にあたっては、以下のことをお守りください。

お湯を上手に使う

1日に使用できるお湯の量は限りがあります。

- シャワーは止めながら (髪を洗っているときは止めましょう。)
- 洗いのをするときも止めながら



流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。

そのまま飲用しないでください

長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

- 必ず水道水(水質基準に適合した水)を使用してください。
- 熱いお湯が出てくるまでの水(配管にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに点検の依頼を行ってください。



契約している電力制度を確認する

契約している電力制度によって一部ご利用いただけない機能*があります。(→2ページ) ご契約の電力制度を据付工事店(販売店)にご確認ください。



*深夜電力制度でご契約のお客さまは、わき増し機能(→11ページ)をご利用できません。

リモコンの時刻を確認する

リモコンの時刻が進んだり遅れたりした場合は、時刻を合わせ直してください。

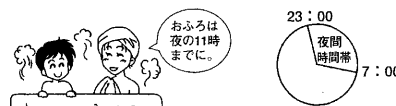
(→9ページ)



時間帯別電灯料金制度を使用されている場合、時刻がずれていると、タンク内をわき上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金は割増になります。

夜間時間帯の入浴について

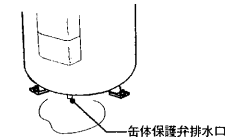
この温水器は、夜間時間帯(リモコンに「通電中」が表示されているとき)にお湯をわかしますので、この時間にはなるべく入浴しないようにしてください。夜間時間帯にお湯を使うと、翌日の湯温が低くなったり、お湯がたりなくなったりする場合があります。



夜間時間帯は、地域によって異なります。

万一の故障時には

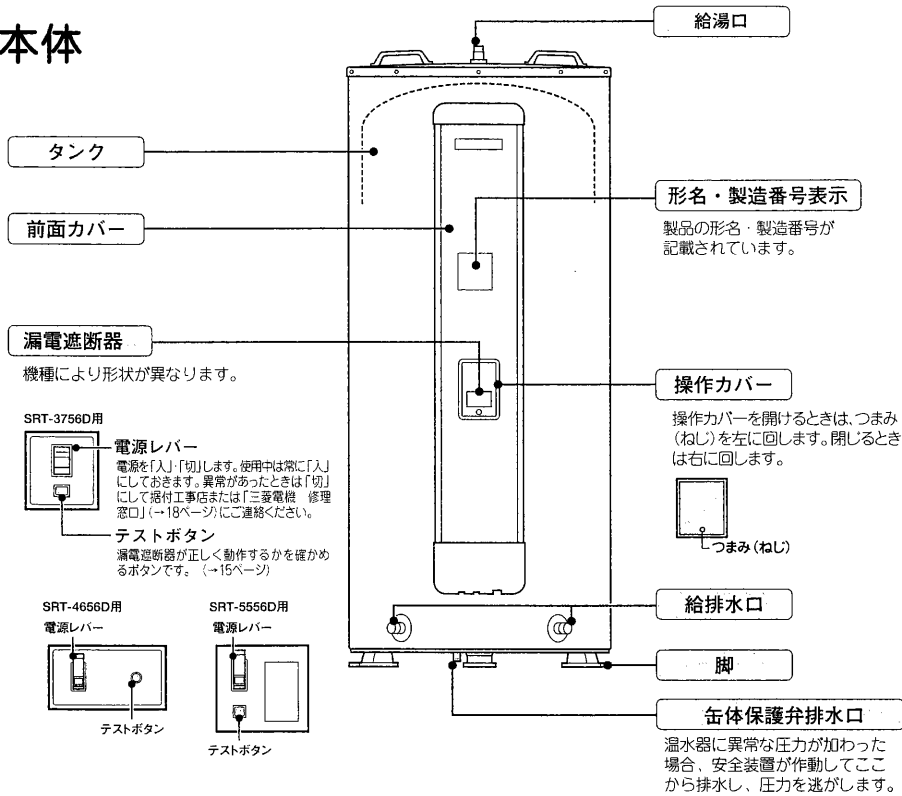
本体や缶体保護弁排水口から水が排出された場合は、温水器専用止水栓を閉じ、電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店(販売店)へご連絡ください。



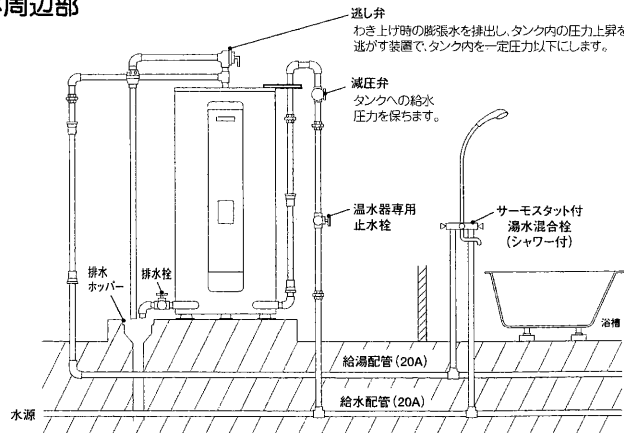
各部のなまえ (本体・リモコン)

各部のなまえ (本体・リモコン)

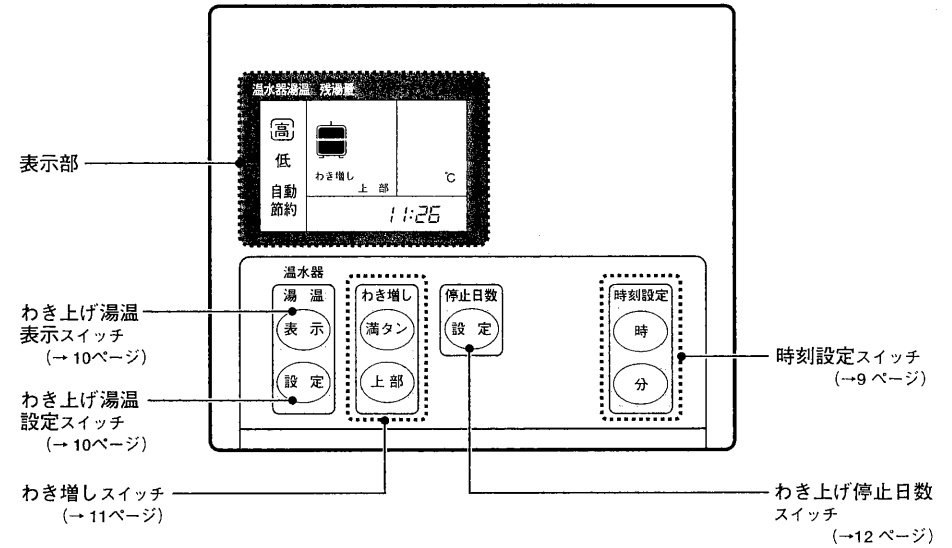
本体



本体周辺部

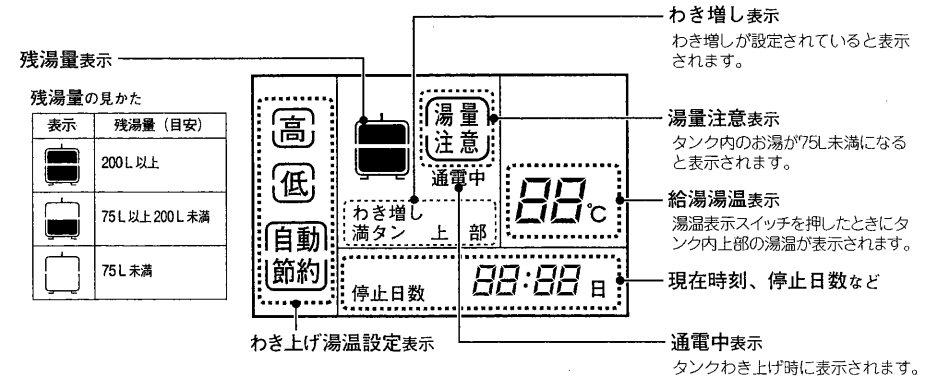


リモコン



表示部

(説明のため、画面はすべてを表示した状態にしてあります。)



お願い リモコンは、防水タイプではありません。水をかけないでください。故障の原因になります。

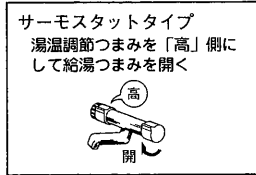
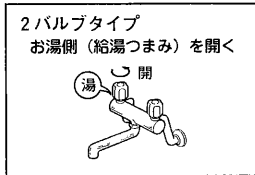
お知らせ 表示部のバックライトの点灯(緑色)は、スイッチを押してから約1分間です。

準備

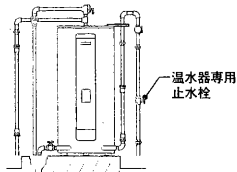
使い始めは、次の手順で操作します。

1. 温水器のタンクを満水にする

- ①タンク内の空気を抜くために、家の中の蛇口（湯水混合栓のお湯側）を開く（1カ所）
操作の方法は湯水混合栓のタイプによって異なります。



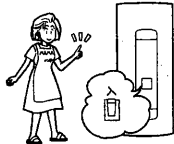
- ②温水器専用 止水栓を開いてタンクに水を入れる
タンクが満水になると蛇口から水がでます。満水までの目安は約30分です。
(配管や水源水圧によって多少異なります。)



- ③満水になったら、①で開いた蛇口を閉じる
(温水器専用止水栓は、閉じないでください。)

2. 電源を入れる

- ①電源ブレーカーを「入」にする (または分電盤の電源ブレーカーを「入」にする)
②漏電遮断器の電源レバーを「入」にする (→6ページ)



注意
通電はタンクを満水にしてから行う

3. 時刻とタンクのわき上げ湯温設定をする

- ①時刻を合わせる (→9ページ)
②タンクのわき上げ湯温を設定する (→10ページ)



夜間時間帯 (→5ページ) にお湯をわき上げます。



夜間時間帯は、地域によって異なります。

お知らせ 時間帯別電灯でご契約の場合、初日と2日目は昼間時間帯でもわき上げることがあります。

警告
使いはじめは、やけどに注意する
特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

4. お湯を使う

お湯は翌朝から使用できます。

やけど防止のため、湯水混合栓の湯温調節つまみを「低」側にしてから給湯つまみを開き、適温に調整してお湯を使用します。



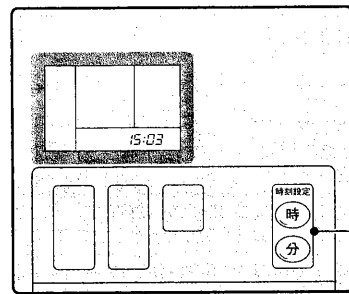
時刻を合わせる

温水器を使うためには、まず時刻を合わせてください。

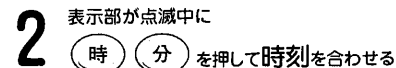
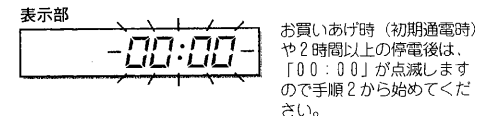
時刻を設定しないと、「わき上げできない」場合があります。

また、時刻が合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。

リモコン



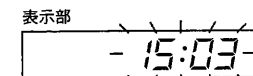
必要な箇所を表示してあります。



時 を押すと1時間ずつ、表示部の数字が進みます。

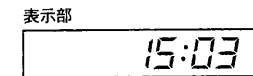
分 を押すと1分間ずつ、表示部の数字が進みます。

スイッチを押し続けると、表示が連続して進みます。



(例) 午後3時3分

約10秒間経過すると時刻が点灯して時刻設定が完了します。



お願い ●時計の時刻は温度変化や停電などにより若干変動します。時刻が進んだ場合や遅れた場合は、時刻を合わせ直してください。また、2～3カ月に一度は時刻が合っているかご確認ください。

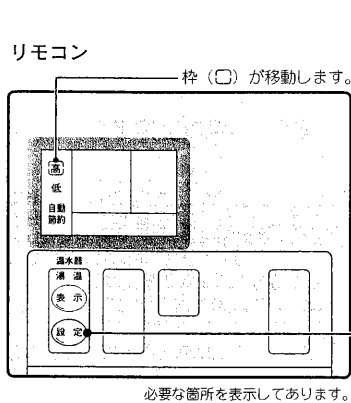
●約2時間以上の停電があった場合や長時間電源を「切」にしていた場合、表示部は「00:00」が点滅しますので、必ず時刻を合わせ直してください。わき上げできない場合があります。(→14ページ)

お知らせ ●時刻は24時間表示です。昼の12時の場合は「12:00」を、夜の12時の場合は「0:00」を表示します。

ご使用前に

タンクのわき上げ湯温を設定する

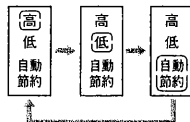
温水器を使うためには、タンクのわき上げ湯温を設定してください。
 通常は（使いはじめは必ず）、湯切れ防止のため「高」に設定してご使用ください。
 お湯の使用量が少ない場合は、省エネのために「自動節約」または「低」にしてください。



1



押すごとに、タンクのわき上げ湯温設定表示が切り換わります。



わき上げ湯温設定表示	わき上げ湯温(目安)	長所・短所
高	約 90℃	• 最高の湯温でわき上げるのでお湯をたくさん使えます。
低	約 70℃	• 余分にわき上げないので省エネ効果があります。 • 湯切れの心配があります。
自動節約	冬期…約 80~90℃ 春秋期…約 75~90℃ 夏期…約 70~90℃	• 効率よくわき上げるので省エネ効果があります。

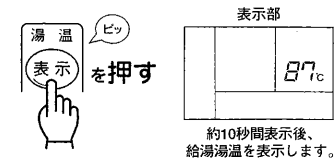
お買い上げ時の設定 …高
 設定できる温度 …高/低/自動節約

お知らせ • 「自動節約」では、過去1週間の使用湯量と給水水温から翌日の使用湯量を予測して、約70℃~約90℃の範囲でわき上げ湯温を決定し、ムダなく効率的にわき上げます。

お願い • わき上げ湯温を「低」または「自動節約」で設定している場合、来客などでお湯をたくさん使用することが予測されるときは、前日に、「高」に設定してください。

タンクのわき上げ湯温を表示する

温水器のタンク内上部の湯温を表示します。



お知らせ • タンク内の湯温は、放熱によって時間の経過とともに少しずつ低下しますので、設定湯温よりも低く表示されることがあります。(通常、湯温の低下は、1時間に約0.5℃~1℃程度ですが、寒冷地ではそれ以上低下します。)



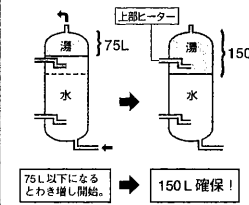
「時間帯別電灯」でご契約のお客さま (→2ページ)

たくさんお湯を使う (わき増し)

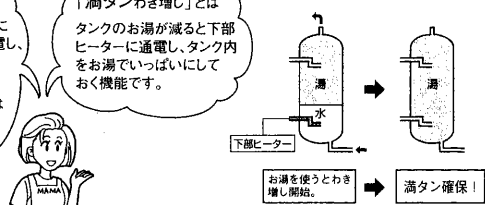
「わき増し」とは、お湯がたりなくならないように、減ってきたらそのつどお湯をわき上げる機能です。
 通常は「上部わき増し」に設定してご使用ください。来客などでさらにたくさんのお湯が必要なときは「満タンわき増し」に設定してください。
 (「時間帯別電灯」でご契約のお客さまがご利用できる機能です。深夜電力でご契約のお客さまは、ご利用できません。)

わき増しのしくみ

〈上部わき増し〉



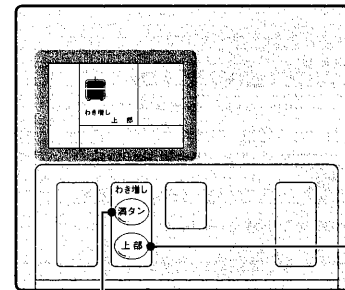
〈満タンわき増し〉



「上部わき増し」とは、タンクのお湯が75L以下になると上部ヒーターに通電し、150Lのお湯を確保する機能です。
 お湯が75L以上あるときは通電されませんので電気代はかかりません。

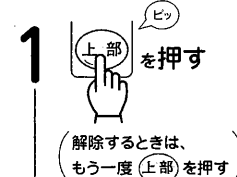
「満タンわき増し」とは、タンクのお湯が減ると下部ヒーターに通電し、タンク内をお湯でいっぱいにしておく機能です。

リモコン

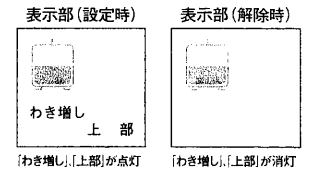


〈上部わき増し〉

お湯がたりなくなるのを防ぐため、設定した状態でご使用することをおすすめします。

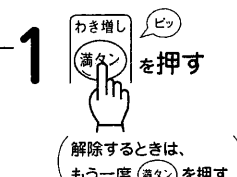


(解除するときは、もう一度(上部)を押す)

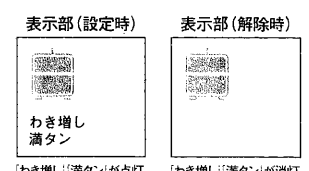


〈満タンわき増し〉

設定した、その日(7:00~23:00)は何回でもタンク全体のわき増しを行います。(23時になると自動的に解除されます。)



(解除するときは、もう一度(満タン)を押す)



お買い上げ時の設定 …上部わき増しのみ

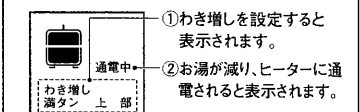
上部わき増し …お買い上げ時に自動的に設定されます。(設定後は、解除するまで継続)

満タンわき増し …必要に応じて設定します。(設定は、設定日のみ有効。自動的に解除)

お知らせ • わき増しは、昼間電力でタンク内をわき上げるので電気料金は割増になります。(→2ページ)
 • 「上部わき増し」と「満タンわき増し」を同時に設定されたときは「満タンわき増し」を優先します。
 • わき増しの場合も、10ページで設定した湯温にわき上げます。



わき増し使用時の表示部



蛇口のお湯を使う

数日間 温水器を止めたいとき

旅行などで数日間お湯を使用しないときに、温水器のわき上げを停止させることができます。

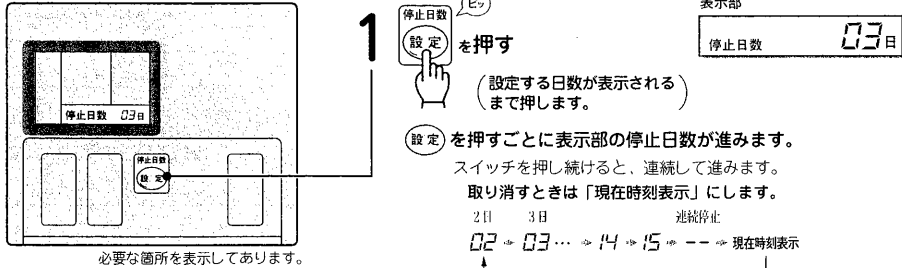
わき上げ停止日数の決めかた

例) 10月1日に出発し、10月4日に帰宅する3泊4日の旅行の場合
 出発日(10月1日)に停止日数「03」を設定 (1日、2日、3日の昼間の使用を止めるため)
 帰宅日には、朝からお湯が使用できます。
 <予定日より早く帰宅した場合>
 まずは停止日数を解除してください。翌朝からお湯が使用できるようになります。
 「時間帯別電灯」でご契約のお客さまは、わき増し(→11ページ)を使用してください。

お知らせ

- 連続停止(――)を設定した場合、解除するまでわき上げを行いません。
- 停止日数の表示は、1日ごとに減っていくきます。(連続停止(――)が表示されているときは除く。)

リモコン



必要な箇所を表示してあります。
 お買上げ時の設定…なし
 設定できる範囲…2日～15日/連続停止
 1か月以上使用しない場合は、以下の方法で停止してください。

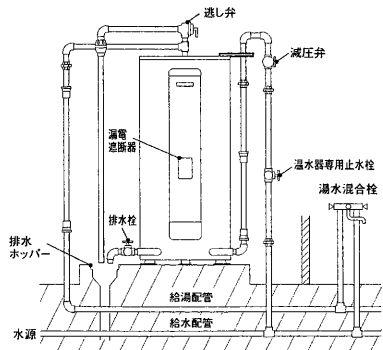
解除するとき
 「現在時刻表示」になるまで、停止日数スイッチを押す

長期間 使用しないとき

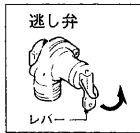
1か月以上、温水器を使用しないときは、運転を止めタンクの水を抜きます。

注意

- 1か月以上使用しないときは、タンクの水を抜く(水質変化の原因)
- タンクの熱湯を直接排水しない(やけど、排水管などの破損の原因)



- 1 電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にする
 電気の供給を停止します。(あらかじめ前日に「切」にしておけば、ムダにお湯を捨てることがなくなります。)
 - 2 タンク内のお湯を水にするために、湯水混合栓(例えば台所など)を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出す
お願い ● お湯の温度を調節して60℃以下で排水してください。
 - 3 温水器専用止水栓を閉じる
 温水器(タンク)への給水を止めます。
 - 4 逃し弁のレバーを上げる(図)
 タンクへ空気を取り入れます。
 - 5 排水栓を開く
 タンクの水(お湯)を抜きます。
 排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。
- 警告**
 排水時は、やけどに注意する



お願い ● 排水が終わったら、排水栓を閉じてください。

再び使用するとき
 逃し弁のレバーを下げ、排水栓が閉じていることを確認してから準備(→8ページ)の手順を行ってください。

凍結防止をする

冬季は本体周囲温度が0℃以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損することがありますので、凍結防止対策が必要です。(寒冷地だけでなく暖かい地域でも凍結することがあります。)

凍結防止対策として「凍結防止ヒーターによる方法」「少量の水を流し続ける方法」「水抜きによる方法」などがあります。どの方法で施工されたのか据付工事店へ確認してください。また、お客さまが行う具体的な操作方法についても確認し、凍結防止の操作を行ってください。

注意

凍結防止対策の確認をする
 凍結するとタンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。

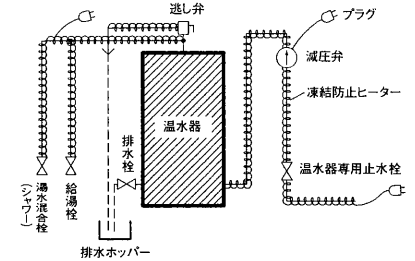
お願い

● 配管が凍結した場合は、温水器専用止水栓を開いて据付工事店(販売店)へご連絡ください。

凍結防止ヒーターによる方法

凍結防止ヒーターが図のように巻かれているか確認します。使用するときは、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。

凍結しない季節はコンセントからプラグを抜いておきます。



少量の水を流し続ける方法

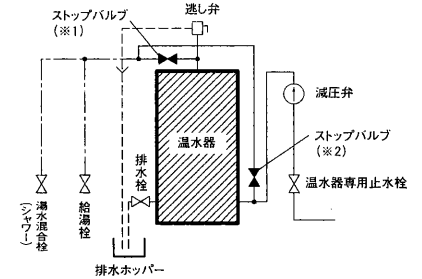
(凍結防止の間、お湯は使用できません。)

(夜 お湯を使わなくなったら)

- ① ストップバルブ(※1)を閉じ、ストップバルブ(※2)を開く
- ② 各給湯栓、湯水混合栓を少し開けて、糸引き状態に水を流す

(翌朝使用するとき)

- ① 各給湯栓、湯水混合栓を閉じる
- ② ストップバルブ(※2)を閉じ、ストップバルブ(※1)を開く



水抜きによる方法

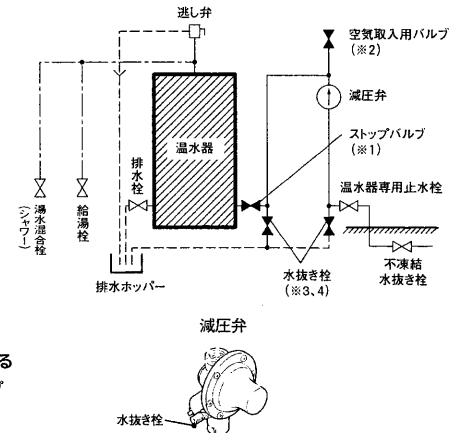
(凍結防止の間、お湯は使用できません。)

(夜 お湯を使わなくなったら)

- ① 温水器専用止水栓と不凍結水抜き栓を閉じる
- ② ストップバルブ(※1)を閉じ、空気取入用バルブ(※2)を開き水抜き栓(※3、4)を開く
- ③ 減圧弁の水抜き栓を開く(図)
 (詳しくは減圧弁の説明書をご覧ください。)
- ④ 逃し弁のレバーを上げ、湯水混合栓、給湯栓を開く
- ⑤ 排水栓を開き、15～20L程度(約2分間)排水する
 (排水が終わったら排水栓を閉じてください。)

(翌朝使用するとき)

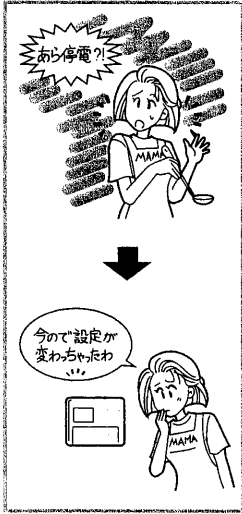
- ① 逃し弁のレバーを下げる
- ② 減圧弁の水抜き栓を閉じる
- ③ 空気取入用バルブ(※2)と水抜き栓(※3、4)を閉じる
- ④ 不凍結水抜き栓、温水器専用止水栓とを開きストップバルブ(※1)を開く
- ⑤ 湯水混合栓、給湯栓を閉じる



こんなとき

停電したとき

この温水器は、約2時間のメモリ機能がついていますので、短時間の停電であれば、お客さまが設定した「時刻」や「わき上げ湯温」などは失われずにすみませう。ただし、長時間の停電の場合は、初期設定に戻りますので次の処置をしてください。



長時間停電すると (約2時間以上)

機能	初期設定に戻る	処置
時刻	「00:00」の点滅	必ず時刻を合わせ直してください。時刻を合わせないと、「わき上げできない」場合があります。また、正しい時刻に合せていないと、電気料金が割高になる場合があります。
わき上げ湯温	「高」	ご利用のわき上げ湯温に設定し直してください。
上部わき増し	設定(セット)	上部わき増しを解除してご利用の場合は、再度、解除し直してください。
満タンわき増し	解除	満タンわき増しを使用するときは、再度、設定し直してください。
停止日数	解除	再度、設定し直してください。

温水器のわき上げ

夜間時間帯に停電が発生した場合

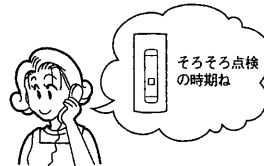
- 短時間の場合、停電終了後すぐに、温水器(ヒーター)に通電され、わき上げを行います。
- 2時間以上続いた場合は、停電終了後、温水器の湯温設定が「高」になりわき上げをはじめますが、時間がたりにく設定したわき上げ湯温までわき上がらない場合があります。

定期点検 (有料)

電気温水器を少しでも長くお使いいただくために、3~4年に1度定期点検(有料)を行なってください。定期点検については、据付工事店(販売店)または「三菱電機 ご相談窓口」(→19ページ)へご相談ください。点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

定期点検の主な内容

項目	内容
据付け状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品(配線、導通、動作の確認)、弁類(減圧弁、逃し弁)などの点検および消耗部品の交換
清掃	タンク内の清掃(沈殿物の除去など)



消耗部品 以下の部品は消耗部品です。



お願い ● 減圧弁、逃し弁、ヒーターパッキンの交換時は、当社純正部品をご指定ください。

日常点検とお手入れ

日常のお手入れ：本体、リモコンのお手入れ

本体やリモコンの表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。



お願い

●ベンジンやシンナーなどの化学薬品やアルコールは、使用しないでください。変形や変色の原因になります。

1年に2~3回程度：漏電遮断器の動作点検

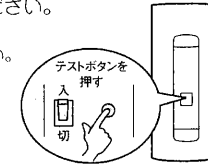
漏電遮断器の点検は、200V電源供給中に行なってください。

- 時間帯別電灯でご契約の場合…いつでも点検できます。
- 深夜電力でご契約の場合…夜間時間帯に点検を行なってください。

①テストボタンを押す

電源レバーが「入」→「切」になれば正常です。「切」にならない場合は、据付工事店にご連絡ください。

②必ず電源レバーを「入」に戻す



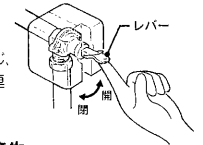
警告
漏電遮断器の動作を確認する(感電の原因)

1年に2~3回程度：逃し弁の点検 (各部のなまえ：→6ページ)

動作点検と水漏れ点検を行います。

動作点検…レバーを上げ、水(お湯)が排水ホッパーへ出ることを確認する

水(お湯)が出れば正常です。水(お湯)が出ない場合は、温水器専用止水栓を閉じ、電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店にご連絡ください。また、レバーの動きが悪い場合は、早めに据付工事店にご連絡ください。動作確認後は必ずレバーを下げてください。



水漏れ点検…わき上げをしていないとき(リモコンに「通電中」が表示されていないとき)、排水ホッパーから水(お湯)が出ていないかを確認する

水(お湯)が出ていなければ正常です。水(お湯)が出ている場合は、レバーを数回、上下に動かします。それでも、水が止まらない場合は、温水器専用止水栓を閉じ、電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店にご連絡ください。

警告
点検時は、配管に手を触れない(やけどの原因)

注意
逃し弁の点検をする
タンクや配管が破裂して、やけどの原因になります。

1年に2~3回程度：配管、缶体保護弁排水口からの漏水点検

配管の保温材破損や配管からの水漏れと、缶体保護弁排水口から水が排出されていないかを点検します。水漏れが生じている場合は、据付工事店にご連絡ください。特に冬季に入る前には、必ず保温材のチェックを行います。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。



お願い

●本体や周辺配管などから水漏れが生じた場合は、温水器専用止水栓を閉じ、電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店へご連絡ください。

注意
配管を点検する
マンションなど、中・高層住宅では水漏れが起きた場合、下層階に被害を及ぼすことがあります。

1年に2~3回程度：タンクのお手入れ

①排水栓を約1~2分間開く

タンクの下部にたまった汚れを排水します。排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。

②汚れがなくなったら排水栓を閉じる

汚れが多い場合は、数回繰り返します。



警告
排水時はお湯に手を触れない(やけどの原因)

故障かな？

故障かな？

故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
お湯が出ない お湯の出が悪い 	温水器専用止水栓が閉じている	閉じていれば開けてください。
	断水している(蛇口から水がでますか?)	断水が終るまで待ってください。
	凍結防止をしている	「水抜きによる方法」、「少量の水を流し続ける方法」で凍結防止をしている場合はお湯を使用できません。(→13ページ)
	配管が凍結している	凍結していた場合は、温水器専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。
お湯がわかない お湯が足りない 	リモコンが接続されていない	据付工事店(販売店)へご連絡ください。
	リモコンの時刻表示部が点滅している	時刻を設定してください。(→9ページ)
	リモコンの停止日数が表示されている	停止日数を解除して、わき増しを利用してください。
	電源ブレーカーが「切」になっている	「切」になっている場合は、「入」にしてください。
	漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている	「切」になっている場合は、「入」にしてください。2度、3度と「切」になる場合は、「切」のまま据付工事店(販売店)へご連絡ください。
	わき上げ湯温設定が低い	「低」の場合は「高」へ設定を変えてください。
	リモコンに「通電中」が表示されていないときに、逃し弁の排水口からお湯(水)が出ている	逃し弁の点検を行なってください。(→15ページ) 逃し弁が正常でもお湯が出ている場合は、減圧弁の故障が考えられますので据付工事店(販売店)へご連絡ください。
	リモコンに「通電中」が表示されているときに、お湯をたくさん使用した(特に夜間時間帯)	わき増し(→11ページ)を利用してください。
	いつも比べてお湯をたくさん使用した	わき増し(→11ページ)を利用してください。翌日の使用湯量が多くなると予測できる場合は、あらかじめわき上げ湯温の設定を上げてください。
	わき増しの設定ができない	電力制度の契約が「深夜電力」契約になっている
缶体保護弁排水口から水が出ている	逃し弁または缶体保護弁の故障です。	温水器専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。

上記にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「三菱電機 修理窓口」(→18ページ)へご相談ください。

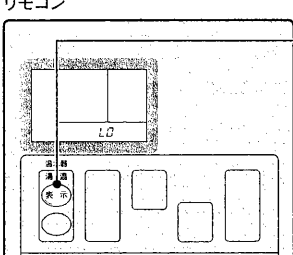
こんなときは故障ではありません

逃し弁からお湯が出ている リモコンの「通電中」が表示されているときは、水をお湯にわき上げてお湯の体積が増えた分を逃し弁から排水しています。	設定したわき上げ湯温までわき上がらない 以下のことを行うと、設定したわき上げ湯温までわき上がらない場合があります。 ①リモコンに「通電中」が表示されているときにお湯を使用した場合 ②夜間時間帯にわき上げ湯温の設定をかえた場合 (「低」→「高」または「自動節約」→「高」) ③給水水温が低く、残湯量が少ない場合 ●給水水温…10℃以下 ●残湯量…20L未満
お湯が白く濁って見える 水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。	ヒーターにすぐに通電されない 給水水温が高い場合や湯温設定が「低」のときは、夜間時間帯になってもすぐに通電しません。夜間時間帯が終了する時刻に合わせてわき上げを完了させます。(ピークソフト機能)
お湯から油がでる、お湯が臭い 初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。	

お湯がたりなくなったときに温水器を診断する(自己診断モニター機能)

お湯の量がたりなくなったとき(設定したわき上げ湯温までわき上げできなかったとき)、次の操作で原因を調べることができます。

リモコン



1 湯温表示を5秒以上押す

表示例) L0

約10秒間、「湯量不足の原因」が表示されます。(下表)

2 L0~L3が表示中に もう一度 湯温表示を押す

表示例) 5:00

約10秒間、「昨夜のわき上げ時間」が表示されます。

表示	診断結果
L0	わき上げは完了しています。昼間時間帯にたくさんのお湯を使用したため、湯量不足になりました。(据付工事直後や2時間以上の停電後は、わき上げが完了していないため表示されます。)
L1	給水水温が低く、設定したわき上げ湯温までわき上がらずに湯量不足になりました。
L2	夜間時間帯にお湯を使用したため、設定したわき上げ湯温までわき上がらずに湯量不足になりました。
L3	夜間時間帯にお湯を使用したため、または夜間時間帯に2時間以上停電したため、設定したわき上げ湯温までわき上がらずに湯量不足になりました。

時間帯別電灯通電制御型でご契約のお客さまは、お湯が足りなくなった場合は「わき増し(→11ページ)」を利用してください。深夜電力通電制御型でご契約の場合は、わき増しが利用できません。時間帯別電灯通電制御型に契約を変更すれば、わき増しを利用し、お湯の不足が解消できます。電力制度の契約については、据付工事店(販売店)または最寄りの電力会社にご相談ください。

リモコンにエラーが表示された場合の処置

表示	原因(症状)	処置
U1	深夜電力が供給されていません。	電源ブレーカーと漏電遮断器の電源レバーを「入」にしてください。「入」にしても、2度、3度と「切」になる場合は、「切」のまま据付工事店(販売店)または「三菱電機 修理窓口」(→18ページ)へご連絡ください。
E0, E1, E2, P6, P7, H1, H3	温水器の異常です。	電源ブレーカーと漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店(販売店)または「三菱電機 修理窓口」(→18ページ)へご連絡ください。

アフターサービス

■保証書（添付）

●保証書は、必ず「お買上げ日、据付工事店名（販売店名）」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのこと、大切に保管してください。（取扱説明書、据付工事説明書、据付工事確認書なども保証書と一緒に保管してください。）

●据付工事説明書（別添付）で指定されていない別売品を用いて使用した場合、故障が生じたときには責任を負い兼ねます。

保証期間…お買上げ日から2年間です。
ただし、タンクは5年間です。

■補修用性能部品の最低保有期間

●この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後10年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるときは

◎「故障かな？と思ったら」（→16ページ）にしたがってお調べください。なお不具合がある場合は、電源を「切」にしてから、据付工事店（販売店）にご連絡ください。

◎保証期間中は修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって据付工事店（販売店）が修理させていただきます。

◎保証期間が過ぎているときは修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

◎修理料金は技術料+部品代+出張料などで構成されています。

◎ご連絡いただきたい内容

1. 品名 : 三菱 電気温水器
2. 形名 : 本体正面に表示してあります。
3. お買上げ日: 年月日
4. 故障の状況: できるだけ具体的に
5. お名前・ご住所 (付近の目印なども) ・電話番号・訪問希望日

三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内 (家電品)

修理・取扱いのご相談は
まずお買上げの販売店へ

転居や贈答品などでお買上げの販売店へ
ご依頼できない場合は

修理のお問い合わせは

その他のお問い合わせは

修理窓口へ

ご相談窓口へ

修理窓口 電話受付: 365日24時間

北海道地区	
札幌 (011) 890-7520 札幌市厚別区大谷地東 2-1-18	室蘭 (0143) 45-5781 室蘭市東町 1-17-19
旭川 (0166) 26-5580 旭川市南1条 8-1-4	苫小牧 (0144) 55-1114 苫小牧市明野新町 2-1-18
北見 (0157) 25-7045 北見市柏陽町 577-60	小樽 (0134) 33-3380 小樽市緑 2-28-22
釧路 (0154) 24-1355 釧路市喜多町 2-25	函館 (0138) 49-0345 函館市西桂楼町 589-57
帯広 (0155) 35-3111 帯広市西13条北 4-1-13	

東北地区	
青森 (017) 773-8381 青森市大字野水字野原 37-184	秋田 (018) 865-4471 秋田市八橋三和町 19-36
弘前 (0172) 32-6535 弘前市大字青山 4-20-3	横手 (0182) 32-1785 横手市卸町 3-2
八戸 (0178) 28-8544 八戸市大字長苗代字下亀子谷地 6-8	大館 (0186) 42-2781 大館市餅田 2-5-44
むつ (0175) 22-3277 むつ市横迎町 2-11-7	山形 (023) 624-0018 山形市大野目 2-1-21
盛岡 (019) 637-7454 盛岡市羽場13地割 30-11	酒田 (0234) 35-8230 酒田市上安町 1-11-11
水沢 (0197) 25-4511 水沢市卸町 2-3	鶴岡 (0235) 24-6161 鶴岡市上畑町 5-4
釜石 (0193) 23-4611 釜石市定内町 3-10-1	米沢 (0238) 37-5554 米沢市中田町 742-8
仙台 (022) 238-1773 仙台市若林区大和町2-18-23	福島 (024) 534-7123 福島市御山字田中 58
気仙沼 (0226) 23-8485 気仙沼市田中前 2-9-2	郡山 (024) 959-6543 郡山市喜久田町卸 1-76-1
石巻 (0225) 95-9111 石巻市門脇字四番谷地 16-268	会津 (0242) 27-4426 会津若松市天守寺町 3-7
古川 (0229) 24-3595 古川市米袋字大窪 25-1	原町 (0244) 24-2842 原町市榎井町 1-173
	いわき (0246) 26-1822 いわき市内郷台地町鶴巻 75-8

KOOB

首都圏地区	
東京都・神奈川県・千葉県 茨城県・埼玉県・栃木県・群馬県	
フロントセンター東京	電話 (03) 3424-1111 FAX (03) 3424-1115 東京都世田谷区池尻 3-10-3

甲信越地区	
新潟 (025) 274-9165 新潟市竹尾卸新町 752-9	長野 (026) 221-3232 長野市福築 904
長岡 (0258) 23-3323 長岡市南陽 1-1118-1	松本 (0263) 27-2461 松本市芳川野瀬 531
上越 (0255) 24-1160 上越市春日山町 3-6-3	飯田 (0265) 52-5396 飯田市上幾別府 3367-1
	山梨 (055) 222-2711 甲府市下飯田 1-4-11

東海・北陸地区	
愛知県	
フロントセンター名古屋	電話 (052) 721-0131 FAX (052) 721-7268 名古屋市中区矢田南5-1-14
沼津 (0559) 22-7111 沼津市若葉町 20-1	四日市 (0593) 47-0621 四日市市日永 5-7-16
静岡 (054) 284-0821 静岡市中原 913	松阪 (0598) 29-7664 松本市久保町字猿楽 682-7
浜松 (053) 463-8455 浜松市上西町 62-5	富山 (0766) 56-0121 射水郡小杉町青井谷 1-1-1
岐阜 (058) 275-0909 岐阜市中橋 3-24	金沢 (076) 252-8133 金沢市小坂町西 97
中津川 (0573) 65-6646 中津川市柳場字町裏 526-2	福井 (0776) 22-6340 福井市間屋町 1-19
高山 (0577) 33-7410 高山市冬顔町 981-5	

関西地区	
大阪府・奈良県・和歌山県 (田辺・新宮を除く) 兵庫県 (阪神・淡路地区) ・京都府 (畿北を除く)	
フロントセンター関西	電話 (06) 6454-3901 FAX (06) 6454-3900 大阪市北区大淀中 1-4-13
滋賀 (077) 552-4058 栗太郡栗東町安養寺 2-4-25	豊岡 (0796) 24-6360 豊岡市中除 376
畿北 (0773) 23-5960 福知山市原中町 61	田辺 (0739) 23-1109 田辺市福成町字西沖代79-7
姫路 (0792) 94-3383 姫路市手柄 98	新宮 (0735) 22-2495 新宮市池田 3-1-31

◎所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

中国・四国地区	
広島県・山口県・島根県・鳥取県・岡山県 香川県・徳島県・高知県・愛媛県	
中・四国CSセンター	電話 (082) 890-6365 FAX (082) 890-6367 広島市南区大洲 4-3-26

九州地区	
福岡 (092) 412-5333 福岡市博多区豊 1-9-13	熊本 (096) 380-0211 熊本市石原町 326-1
北九州 (093) 653-1231 北九州市八幡東区昭和 2-5-25	八代 (0965) 33-5173 八代市緑町 13-1
久留米 (0942) 45-2661 久留米市東合川新町 7-20	大分 (097) 558-8803 大分市向原西 1-8-1
佐賀 (0952) 31-4189 佐賀市鍋島町大字八戸溝348-2	宮崎 (0985) 56-4900 宮崎市大字赤江字江田150-1
唐津 (0955) 72-1337 唐津市東城内 6-50	延岡 (0982) 21-3540 延岡市想嶺町 25-5
長崎 (095) 843-0622 長崎市大橋町 23-4	鹿児島 (099) 260-2421 鹿児島市卸本町 7-17
佐世保 (0956) 30-7740 佐世保市本原町 155-1	沖縄 (098) 898-3333 宜野湾市大山 7-12-1

ご相談窓口

購入・買替えのご相談、取扱い方法のお問い合わせは

三菱電機お客さま相談センター 365日
24時間

〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3

※全国どこからでも おかけいただけるフリーダイヤル

☎ 0120-139-365 (通話料金無料)

いつもサンキュー 365日

※通常電話番号 (携帯電話・PHS対応) 03-3414-9655

当社家電品についてのご意見やご要望は
地区お客さま相談室

(月～金曜日 9:00～17:00 祝祭日を除く)

北海道 (011) 893-1313 〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東 2-1-11
東北 (022) 231-8282 〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町 2-2-33
首都圏 (03) 3414-9722 〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3
中部 (052) 972-7222 〒461-0005 名古屋市中区東横 1-4-3
北陸 (076) 252-1356 〒920-0811 金沢市小坂町西 81
関西 (06) 6451-3611 〒531-0076 大阪市北区大淀中 1-4-13
中国 (082) 278-1322 〒733-0833 広島市西区高工センター 6-2-17
四国 (087) 879-1190 〒761-1705 香川県香川町大字川東下 717-1
九州 (092) 571-2211 〒816-0088 福岡市博多区板付 4-6-35


KOOB

こんなとき

仕様

形名	SRT-3756D	SRT-4656D	SRT-5556D	
適用電力制度	時間帯別電灯通電制御型/深夜電力通電制御型(8時間)			
機種区分	屋外・軒下兼用タイプ			
設置場所	屋外			
タンク容量	0.37m ³ (370L)	0.46m ³ (460L)	0.55m ³ (550L)	
電源	時間帯別電灯契約時	単相200V		
	深夜電力契約時	単相200V+単相100V(リモコン用)		
定格	発熱体 上部	4.4kW	5.4kW	6.4kW
	発熱体 下部	4.4kW	5.4kW	6.4kW
	制御用	約 5W(通常時)/約 9W(最大時)		
標準消費電力量*	約34kWh/日	約42kWh/日	約50kWh/日	
外形寸法	高さ	1673mm	1715mm	1996mm
	外径	φ660mm	φ720mm	φ720mm
	奥行き	731mm	791mm	791mm
製品質量	本体	約 50kg	約 57kg	約 65kg
	満水時	約 420kg	約 517kg	約 615kg
最高使用圧力	100kPa			
安全装置	漏電遮断器、温度過昇防止器、缶体保護弁			
リモコン(同梱)	縦 120mm 横 140mm 厚さ 24mm			

*標準消費電力量は、わき上げ温度90℃、給水温度15℃の条件でタンク内全量を1回わき上げたときの値です。

	<p>★長年ご使用の温水器の点検を!</p>	<p>●この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後10年です。</p>
	<p>こんな症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> ●設置場所が濡れている。 ●お湯が早くなる。 ●時々漏電遮断器がはたらく。 ●その他の異常や故障がある。 	<p>ご使用中止</p> <p>故障や事故防止のため、電源ブレーカーを切り温水器専用止水栓を閉じてから、据付工事店に点検・修理(有料)をご相談ください。</p>

製品形名<製造番号>	据付工事店(販売店)の店名・住所・電話番号
SRT- < >	
お買上げ日	
年 月 日	

点検・修理時の覚え書きとしてご使用ください。



群馬製作所 〒370-0492 群馬県新田郡尾島町岩松800
電話番号 0276-52-1111 (代表)